

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆対米投融資は継続、首相訪米にらみ 関税違憲で揺らぐ日米合意の前提

・日本政府はトランプ米大統領の関税発動を違憲とした米連邦最高裁判決を踏まえたうえで、米国への投融資を続ける方針。違憲判決により日米関税合意の前提が揺らぐものの、経済成長や経済安全保障に必要な投資と位置づけて米国との関係強化を優先する。

#### ◆実質賃金プラス圏の兆し カズくで物価抑制、給付・減税頼みには不安

・総務省が発表した1月の消費者物価指数(CPI)はガソリン税の旧暫定税率廃止などで、伸び率が2年ぶりの低い水準になった。物価上昇が落ち着くことで、物価変動を考慮した実質賃金の伸びはプラス圏に浮上する見通した。プラスの持続には息の長い賃上げに加え、質の高い成長投資が求められる。

#### ◆1月の消費者物価2.0%上昇、2カ月連続で伸び縮小 ガソリン減税で

・総務省が発表した1月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が112.0となり、前年同月と比べて2.0%上昇した。伸び率は2カ月連続で縮み、24年1月以来の低い水準となった。25年末のガソリン税の旧暫定税率廃止でエネルギー価格が下がっている。エネルギー価格は5.2%の低下で、2カ月連続で下落。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆積水化学工業、建築設備用などの金属部材製品を8～25%以上値上げ

・積水化学工業は建築設備などに使う金属部材製品を値上げすると発表。銅建値の高騰と鋼管原管の値上げにより製造原価が上昇しており、コスト削減や事業効率化による自助努力では限界に達したことから価格改定に踏み切った。4月1日出荷分から実施。金属入りの塩化ビニル管継ぎ手と建築設備用ポリエチレン継ぎ手が15%以上など。

#### ◆労務単価、14年連続で上昇 平均4.5%引上げ 大工は+3.1%

・国土交通省は2026年3月から適用される公共工事設計労務単価を公表。全職種単純平均で前年度から4.5%引き上げられ、14年連続での上昇となった。加重平均値は2万5834円となり、初めて2万5000円を超えた。公共工事に従事する割合の高い主要12職種の平均は2万4095円で、前年度から4.2%上昇。

#### ◆月面インフラ市場は5年間8兆円超 資源開発で40年代後半に、PwC調査

・PwCコンサルティングは月面インフラの市場調査を発表。月面探査車(ローバー)などモビリティ分野がけん引し、インフラ市場は2046～50年の5年間で561億ドル(8兆7000億円)と26～30年の13倍に成長。月面で生活する累計人数が50年までに約860人と想定した楽観シナリオに基づくと、26年～30年と比べて約10倍に拡大する。

### 《 注目商品 》

#### ■城東テクノ、樹脂製軒天換気材に木目に馴染む新色

・外装部材ブランド・GAISOから、見上げた際に換気孔が見えない「樹脂製 軒天換気材」に2種類の新色を追加。換気スリットが見えず、軒先・壁際に使用できる樹脂製の軒天換気材。雨風が吹き込みやすい水上側・ケラバ側にも安心して使用でき、屋根全周に対応。



#### ■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。



#### ■パロマ、ビルトインコンロの清掃性・利便性を向上 WITHNA(ウィズナ)

・丸ボタンの点火ボタンを搭載したスタイリッシュなビルトインコンロの同シリーズをモデルチェンジ。「ひろびろすっきりトップ」を全機種で採用。グリル排気口をアイランド構造とし、すっきりとさせることで清掃性や調理中の鍋の仮置きなどの利便性が向上。

